

## 「帯広市岩内自然の村」の方向性について

### 1 これまでの経過

- (1) 令和3年7月29日経済文教委員会 「帯広市岩内自然の村」の方向性の検討について報告
  - ・岩内自然の村については、開村後40年以上を経過し、青少年を中心とした市民の自然体験の場としての利用が減少し、施設の老朽化も進む中で、帯広市公共施設マネジメント計画に基づき検討した結果、行政が運営する自然体験施設としては一定の役割を果たしたものと判断した。
  - ・民間事業者等による建物・土地の利活用の可能性について確認した上で、施設の方向性を固めていくこととした。
- (2) 令和3年9月～11月 民間提案型調査の実施
  - ・施設の利活用の可能性について、民間事業者等から意見や提案をいただく「『帯広市岩内自然の村』の利活用に係る民間提案型調査」を実施した。
- (3) 令和4年1月14日経済文教委員会 調査結果報告
  - ・実施主体となる意向を有する民間事業者から4件の提案を受けた。
- (4) その他
  - ・上記(2)(3)に加え、利用団体や地元町内会・観光協会などの関係者に、施設の状況や方向性の検討などを説明し、利用の状況、施設を廃止した場合の影響などを聴取しながら、施設の方向性について理解を得た。

### 2 施設の方向性

- 令和4年度末をもって施設を廃止する。
- 廃止後の施設について、民間事業者等による利活用の可能性があるものと判断し、今後、利活用に向けた作業を進めていく。